

てんかんの地域診療連携体制推進のためのてんかん診療拠点病院運用ガイドラインに関する研究

てんかん診療拠点病院受診患者調査（静岡てんかん・神経医療センター）

研究分担者：西田拓司、寺田清人、原稔枝、高橋幸利 国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター

**研究要旨** てんかん診療拠点病院受診患者調査（静岡てんかん・神経医療センター）

本研究では、てんかん診療拠点病院のてんかん患者の受診傾向を調査することで、拠点病院の課題を抽出する。今年度は、てんかん患者の受診状況、長時間ビデオ脳波モニタリング検査実施数、外科手術件数、相談件数を調査した。今回得られた当院での基礎資料を基に、来年度以後、より詳細な受診状況を調査する。

**A.研究目的**

本研究は、てんかん診療拠点病院の一つである国立病院機構静岡てんかん・神経医療センター（以下、当院）のてんかん患者の受診傾向を調査することを目的としている。

**B.研究方法**

当院てんかん科の診療録、情報診療提供書、相談記録などから以下を明らかにする。調査項目は、てんかんで受診した患者数、成人・小児別数、男女別数、長時間ビデオ脳波モニタリング検査実施数、外科手術件数、紹介した患者数、紹介された患者数、紹介元保険医療圏（各地域ごと人数）、紹介先保健医療圏（各地域ごと人数）、紹介患者初診目的、逆紹介患者紹介目的、てんかんの相談件数、相談内容、相談対応である。長時間ビデオ脳波モニタリング検査実施数は診療報酬を算定したもので、連日行った場合も1件とした。紹介患者数は診療情報提供書の数より示した。相談件数は、当院で実施しているてんかんホットライン（平日9時～22時）の件数とした。

**（倫理面への配慮）**

本研究は当院の倫理審査委員会による承認を得た。

**C.研究結果**

当院てんかん科の受診患者数（実数）は、2017年度入院3016名、外来8268名、2018年度入院3230名、外来7541名だった。受診患者のうち成人・小児別では、2017年度成人8260名、小児3024名、2018年度成人7794名、小児2977名だった。受診患者のうち男女別では、2017年度男性6135名、女性5149名、2018年度男性5848名、女性4923名だった。長時間ビデオ脳波モニタリング検査実施数は、2017年度2358件、2018年度2214件だった。外科手術件数は、2017年度65件、2018年度72件だった。紹介した患者数は2017年度2585名、2018年度2687名、紹介された患者数は2017年度1347名、2018年度1264名だった。相談件数は、2017年度1199件、2018年度1213件だった。

#### D.考察

今回得られた当院での基礎資料を基に、次年度以後、てんかん患者のより詳細な受診状況を調査する予定である。

#### E.結論

当院でのてんかん患者の受診傾向を調査するための基礎資料を得ることができた。

#### F.健康危険情報

特になし

#### G.研究発表

##### 1.論文発表

特になし

##### 2.学会発表

特になし

(発表誌名巻号・頁・発行年等も記入)

#### H.知的財産権の出願・登録状況

(予定を含む。)

##### 1.特許取得

特になし

##### 2.実用新案登録

特になし

##### 3.その他

特になし